土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　その他河川　中小坪川　通常砂防事業に伴う業務委託（測量調査設計）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.2	**調査位置**	広島県呉市広小坪一丁目 地内			**北緯**	34° 12′ 30.8137″
発注機関	広島県西部建設事務所【呉支所】			**調査期間**	2020年 10月 15日 ～ 2020年 10月 16日	**東経**	132° 38′ 16.5418″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 53.64m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	5.00m	**使用機種**	**試錐機**	吉田鉄工製　YSO-1型			
			エンジン	ヤンマー製 NFE-10型	**ポンプ**	ヤンマー製 80A型	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	53.24	0.40		シルト混り砂		暗褐灰	rd2			φ5～10mm礫を混在するシルト質細砂。	
1				玉石混り砂礫		暗褐	中位の			所々草根が混じる。 粘土混じりの細礫がφ5cm前後の亜角礫間を充填している。	
2	51.44	2.20									
3				砂岩		暗灰～暗青灰				砂泥の縞状模様をなす硬質ホルンフェルスである。 砂岩優勢で擾乱が見られる。 2.4～2.8m間は縦キレツが発達し亀裂面は酸化している。 3.0～4.0m　RQD　42% 4.0～5.0m　RQD　68%	
4											
5	48.64	5.00									
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
34	1.45	8	11	15	34/300		
	1.45	50/0			50/0		
	2.00						
	2.00	50/0			50/0		
	3.00						
	3.00	50/0			50/0		
	4.00						
	4.00	50/0			50/0		
	5.00						
	5.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					10/15
					10/16